

# ステップアップ 畜産!

西部農業事務所家畜保健衛生課（西部家畜保健衛生所）  
〒370-0074 高崎市下小島町 233  
TEL 027-362-2261、FAX 027-362-2260

## ～記事～

- ★国内における高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況
- ★今シーズン及び近年の HPAI の特徴
- ★地域で危機意識の共有を!
- ★緊急消毒命令を継続中
- ★令和7年定期報告書の提出準備のお願い
- ★農業用免税軽油の集中受付月間のお知らせ
- ★堆肥化作業は臭気の発生に配慮が必要

## ～別添資料～

- ★ご存じですか? 農業用免税軽油
- ★牛由来原料(ビーフミール)の非反芻動物用飼料への利用
- ★アニマルウエルフェアに関する調査にご協力ください!

## ★国内における高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況

今シーズンの農場における HPAI 発生は、これまでで最も早く10月17日に北海道の肉用鶏農場で発生し、以降は短期間のうちに日本各地で発生しており、12月2日現在、9道県11事例の感染が確認されています。これは、過去最多の発生となった令和4年シーズン(26道県84事例)に匹敵するペースです。

また死亡野鳥等から HPAI ウイルスが検出されていない地域でも家きん農場で発生が確認されており、既に全国どこで発生してもおかしくない状況となっています。

これから渡り鳥の飛来が本格化します。さらに環境中のウイルス濃度が高まり HPAI の発生リスクがより増大するため、最大限の警戒が必要です。

引き続き、以下の重点項目を中心に防疫対策をお願いします。



令和4年、令和5年シーズンは **重要!**  
1月に群馬県で発生がありました。  
一度発生したところのある地域は発生のリスクが高いと  
いわれています!  
例年のウイルスの拡がりの傾向を考えると  
これからの時期が最も警戒が必要です!

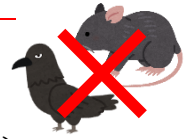


## ★防疫対策における重点項目★

～過去の発生から得られた知見を活かした効果的な対策について～

### (1) 野鳥、野生動物等が集まる状況（環境）を作らない【最重要】

- カラス、ネズミ、ネコなどを農場に近づけない
- 鶏舎内、堆肥舎内への侵入防止  
(点検・修繕、ネット、除糞ベルト等の開口部にカバー設置等)
- 鶏の死体や廃棄卵等の適切な処理（堆肥舎等への投入禁止）
- こぼれ餌はすぐ掃除（まき餌となる）
- 野生動物等の隠れやすい場所をつくらない  
(家きん舎周辺の整理整頓、草刈等、空鶏舎も要注意)
- 樹木の剪定や忌避テープの設置により野鳥を近づけない対策



★ウイルスの運搬者は、カラス・ネズミ・ネコ・人・物

### (2) 敷地内（飼養衛生管理区域内）のウイルスを鶏舎内に入れない

- 長靴・衣服交換（家きん舎ごとに専用長靴設置・着用）、手指消毒【重要】
- ウイルス量を減らすための消毒（踏み込み消毒槽等）
- 従業員だけでなく運搬事業者等出入りする事業者も徹底



### (3) 農場の周辺環境におけるウイルスリスクの低減

- 農場、鶏舎への人の出入りは最小限に
- 車両の出入り制限、**車両消毒の徹底（外部事業者も）**
- 常時、環境消毒（消石灰散布等）
- ★ウイルスは敷地内の至る所に存在するという意識を



### (+α) 一歩踏み込んだ塵埃等への対策 ホコリの中にはウイルスが！！

- 鶏舎周辺の散水・消毒、入気口のフィルター、細霧装置の設置等



## ★今シーズン及び近年の HPAI の特徴

(令和6年度鳥インフルエンザ防疫対策緊急全国会議 (11/21 開催))

鳥取大学山口先生の報告 (HPAI 発生動向の分析) より引用)

### • ウイルスの浸潤状況

- ✓すでにウイルスは全国に分布 (全国の野鳥や環境水から検出)
- ✓特に水きん類 (水鳥) は無症状で広く感染拡大している可能性が高い

今シーズンは、生息数の少ない猛禽類での HPAI 感染が多く確認されています。

猛禽類での感染があるということは、すでにエサとなる水きん類 (水鳥) での感染が広がっていると考えられます。

群馬県内では野鳥での感染確認はまだありませんが、無症状の感染野鳥がいる可能性が十分にあると意識して行動してください。

### • 発生農場の特徴

- ✓11例中4例が令和4年シーズン発生農場での再発
- ✓既発生農場や既発生地域では特に発生リスクが高いことを認識
- ✓飼養衛生管理の水準が比較的高い農場でも発生
- ✓野鳥での感染が未報告の地域でも発生

群馬県では2シーズン連続で HPAI 発生があり、発生リスクが高い環境要因があると考えられます。

今シーズンもいつウイルスが農場に浸潤してもおかしくない状況が続いており、既発生地域での発生リスクは高いです。  
引き続き対策をお願いします。

HPAI 発生日齢 (2020-2024 年度) は、

肉用鶏：平均 48.0 日

採卵鶏：平均 399 日

肉用鶏では保温優先→換気優先に管理を変更するタイミングから  
採卵鶏では育成舎→成鶏舎に管理を変更するタイミングから  
感染確認数が増加し始めます。

**管理の変更のタイミングには特に注意して健康観察をお願いします。**  
**健康な鶏を飼育することが重要です！**

## ★地域、関係者で危機意識の共有を！

HPAI を発生させないために関係者全員がウイルスを持ち込まない、広げないという意識をもつことが重要です。



今年はずっとより HPAI の発生が多いね。うちの農場では HPAI 対策はいろいろして万全のつもりではあるけど、万が一周りの農場で発生があったらやっぱり怖いな…。

全国で HPAI が発生しているようだね。でも私の農場ではそんなにたくさん鶏は飼育していないから、たぶん大丈夫だと思うな。HPAI がこれまで発生している農場は羽数が多い農場ばかりだし…。しかも、もしうちで HPAI が出ちゃったとしても大した被害にはならないはずだからそこまで心配はしていないよ。



そうなの？少ない羽数の農場でも毎年 HPAI の発生があるようだし、HPAI にかかるかどうかは羽数の規模は関係なさそうだよ。そういえば、僕の農場の近くにはいくつか他の養鶏農場があるけど、もしそこで HPAI が発生しちゃうと、僕の農場にもなにか影響があるのかな？

感染の拡大を予防するために、**発生農場から半径 3km 以内は「移動制限区域」、半径 10 km 以内は「搬出制限区域」**になってしまうよ。**移動制限区域に入った農場は、制限が解除されるまでの間、制限区域外への鶏や卵などの移動ができなくなってしまうよ。**（※条件あり）



制限が解除されるまでの間、鶏を処理場に持っていけなくなってしまうということか。制限が解除されてもその頃には鶏が大きくなりすぎてしまって出荷ができないかもしれないな。そうなるとすごく困るな…。

実際に一昨年や去年の群馬県内での発生時には、育雛鶏や肉用鶏の農場でも出荷の制限がかかってしまったよ。出荷の予定日齢を超えても出荷ができなくて、結局処分が必要になった農場もあってすごく大変だったという話も聞いたよ。



制限のことは全然知らなかったよ。自分の農場で HPAI が発生してしまうと、周りの農場にも迷惑がかかっちゃうとは思わなかった…。自分の農場がよければいいと思っていたけど、そうではないのだね。



地域みんなで対策して、HPAI を発生させないことが大事だね。  
関係者みんなで協力して養鶏業を守っていこう！



本年も農場の立入検査にご協力頂きありがとうございました。  
引き続きの飼養衛生管理の徹底をお願いします。



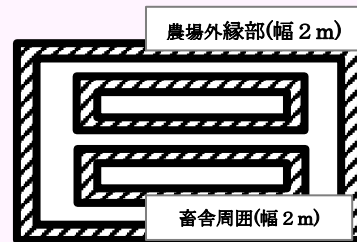
## ★緊急消毒命令を継続中

### 消石灰散布のお願い

10月25日付群馬県告示により緊急消毒の実施を命令しました。

消石灰の散布を引き続きお願いいたします。

- ✓ 鶏舎周囲と農場外縁部に散布  
2m以上の幅
- ✓ 散布量は適切に  
0.5~1.0kg/a m<sup>2</sup>  
1袋：2m幅 15m長
- ✓ 定期的に散布を  
繰り返しの雨や水に濡れた状態や、  
**野外散布後 1週間程度**で消毒効果が減少します
- ✓ 消石灰は強アルカリ性  
マスク・手袋を着用し散布してください



## ★令和7年定期報告書の提出準備のお願い

家畜伝染病の発生予防やまん延防止対策を図るため、家畜を飼養する全ての所有者は毎年2月1日時点の家畜の飼養状況を知事あてに報告することが義務付けられています。令和7年1月末に通知を発送予定ですので、書類提出の準備をお願いします。

なお、今回から農林水産省共通申請サービス（eMAFF）を利用した手続きが可能となります。申請に際し、事前に eMAFF ID の取得をお願いします。

## ★農業用免税軽油の集中受付月間のお知らせ

農業用機械に使用する軽油は、事前に申請手続きを行うことで軽油取引税（32.1円/L）が免除されます。今年度の集中受付期間及び申請場所は次のとおりです。

- 1 申請期間：令和7年2月3日（月）～20日（木）
- 2 申請場所：高崎行政県税事務所

詳細は、同封のリーフレットをご参照ください。

## ★堆肥化作業は臭気の発生に配慮が必要

畜産業に起因する苦情で最も多いものは悪臭であり、堆肥化处理にともない発生する臭気もその要因の一つです。家畜ふんを堆肥化することは、雑草種子や病原菌を不活化したり、臭気の原因物質や汚物感を取り除き、良質堆肥として耕種農家などが利用し易くするために必要な作業です。

堆肥化处理により発生する臭気が、周辺住民からの苦情の原因とならないよう、以下の点に配慮しながら、良質堆肥の生産に努めていただきますようお願いいたします。

### ○堆肥化前にしっかりと水分調整を行う

→ふんにおが粉等の水分調整材を混合して通気性を保つことで、好気的な発酵が進み、より不快感が強く感じられる腐敗系の臭気発生を抑えることができます。

### ○堆肥の切り返し作業を行う時の天候や時間帯を考慮する

→作業時は臭気が最も発生しやすくなります。天気のよい昼間の時間帯は、太陽の熱で暖められた地表付近の空気が上昇気流となるため、発生した臭気が留まりにくくなります。

西部家畜保健衛生所 〒370-0074 高崎市下小鳥町233

TEL 027-362-2261 (緊急時 24 時間対応) FAX 027-362-2260

★ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、お手数ですがご連絡ください。